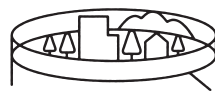


リノベーションスクール
プロフェッショナルコース
シ ラ バ ス

—新しい都市計画とまちづくりの方法論の体系化—



Renova Ring

〈 都市再生のプロフェッショナルを育成するカリキュラム 〉

		1 限目 18:20 ~ 19:50	講師	2 限目 20:00 ~ 21:30	講師
前期	9/28	リノベーションまちづくりとは	嶋田洋平	地域の課題を事業で解決する	小野裕之
	10/5	都市解析 〈定量分析〉	片岡寛之	都市解析演習 1	片岡寛之
	10/12	エリアに根ざした現代版家守の仕事 1	塩田大成	エリアに根ざした現代版家守の仕事 2	宮崎晃吉
	10/19	発明の時代のまちづくり	西村 浩	都市解析演習 2	嶋田洋平
	10/26	都市解析 〈考現学1〉	清水義次	Sensuous City [官能都市] — 動詞で評価する新しい都市分析 —	島原万丈
	11/2	都市解析 〈考現学2〉	清水義次	エリア・マーケティング論 1	加藤寛之
	11/9	都市解析 〈考現学3〉	清水義次	都市解析 〈夜の考現学〉	岡崎正信
	11/16	エリアに根ざした現代版家守の仕事 3	岡 昇平	エリア・マーケティング論 2	明石卓巳
	11/30	共感を生むプロモーションの方法論 1	大島芳彦	共感を生むプロモーションの方法論 2	青木 純
	12/7	クリエイティブ・ディレクション論	大島芳彦	現代版家守事業の方法論	清水義次
【e-ラーニング】 インターネット動画配信によるレクチャー					
後期	1/18	家守会社のコンセプト論	嶋田洋平	プロジェクトチーム・メイキング	大島芳彦
	1/25	建築の産業論 1	松村秀一	建築の産業論 2	松村秀一
	2/1	ベースビルと対峙する作法	馬場正尊	リノベーションの建築構造	木下洋介
	2/8	リノベーションの事業計画とファイナンス論	林 厚見	リノベーション時代のビルダー	福井信行
	2/15	リノベーション事業スキームの構築	嶋田洋平	会社法 ～会社のカタチのデザイン～	平松 圭
	2/22	エリアの価値構造変化を起こす構想力	木下 斉	表にはあらわれない仕事	(調整中)
	3/1	課題解決とプロジェクト・マネジメント論	吉里裕也	企業やオーナーに効く プレゼンと企画書の作り方	馬場正尊
	3/8	セルフビルド・DIY 論	(調整中)	既存建築物の建築法規とコツ	宮部浩幸
	3/22	リノベーションの建築デザイン論 1	(調整中)	リノベーションの建築デザイン論 2	(調整中)
	3/29	クリエイティブ事業者のための 財務諸表分析と戦略的管理会計	山内真理	クリエイティブ事業者のための法務	水野 祐

※カリキュラムの内容や順番は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

受講生の声

リノベーションスクールプロフェッショナルコースを受講頂いた皆様から感想をいただきました。



vol.01 意識と行動が変わった

岩崎 祐一郎さん／岩崎興業地所株式会社



受講してまず変わったのは、意識と行動です。自分が実践していること、これから実践していかなければいけないこと、もしくはまったく考えもしなかったことを、講師の方々は様々な方法で実践して成果を残しています。そのプロセスや成功談、失敗談を聞くことによって、自分自身のタスクが整理され、ビジョンが見えてくるようになりました。ほかにも、受講前と受講後では深層部分の思考が変わったと感じています。意識していない部分で行動が変わっており、後から考えると、プロコースのあの講義がきっかけだったのではないかと思います。特に、毎回講師が変わるという点が刺激的です。自分とは全く畑違いの職業の方から、新しい気づきを得られたことも多々ありました。このタイミングでプロフェッショナルコースに出会えたことは、とても大きな意味があったと思っています。

vol.02 同じ目線で会話できる仲間たちに出会えた

大嶋 亮さん／リノベーション会社勤務

生まれも育ちも兵庫県。兼業農家の子として中山間地にある片田舎で暮らしていました。そんな自分のルーツである地域や育ててくれた人たちが喜んでくれて、感謝してもらえるような仕事を自らつくっていきたい。自分の縁のある土地に足をしっかりと踏ん張ってビジネスをしていきたい、という思いがきっかけで、プロフェッショナルコースを受講しました。

人を巻き込むのが上手くないとずっと実感していたこともあり、渡りに船だと思いました。期待していたように、建築・不動産業界だけではなく、様々な分野で活躍されている方々が受講生の仲間として毎週のように顔を合わせたりするので、良い刺激を与え合えるだけでなく、お互い尻を叩き合えるような関係でも感じています。

日々の仕事で多忙を極めてはいますが、そんな中期限のあるワークを乗り切れているのは、ある程度同じ目線で会話ができる仲間たちと楽しく協業できているからかもしれません。

今後は、学んでいることを活かして中心市街地とは呼べない程度の小さな街単位になると思いますが、地元地域での空き家を活用したエリア価値を上げられるリノベーションや小さなビジネスに着手していきます。講義の中で何度も聞いた、動きながら考える、というスタンスにシフトして、自分の暮らす地域や、家族、友人たちと欲しい暮らしをつくっていきたくて考えています。



vol.03 新しい世界が待っている！

三上 靖彦さん／水戸市中心市街地活性化協議会



都市計画のコンサルタントの傍ら、NPO等を通して市民参加のまちづくりを進めてきました。その経験を活かし、地元のまちで中心市街地活性化協議会を運営してきましたが、従来からの活性化策はどうしても個店のテコ入れと言った対症療法的なものばかり。そこから文化や産業の情報が入り込んで湧き起るような、新しい何かが始まるような、期待感のある活性化策になっていませんでした。これでは時間とお金の無駄。クリエイティブでチャレンジ精神のある若者の創業・起業を支援し、まちなかに「何か新しいことが始まる文化」を定着させたい。その具体的な「リノベーションまちづくり」の手法を学ぶべく、プロフェッショナルコースを受講しました。

受講して驚いたことは、講師たちの斬新な取り組み方。私自身、自称「都市計画のプロ」ですが、根っこのところから考え方が違う。特にリノベーションまちづくりの基本となる「当事者意識」「エリアブランディング」「共感」についてはとても奥が深く、そこに新しいまちづくりの息吹を感じました。この考え方や手法を知らずして、都市計画やまちづくりを語るべきではないといっても過言ではありません。

今後は地元の有志とともに「まちづくり会社」を立ち上げ、中心市街地の再生に向けて、リノベーションまちづくりを実践したいと考えています。また、このコースで学んだことは、リノベーションまちづくりに限らず、広く民間主体のまちづくりを進めるにあたり、バイブル的な役割を果たすものと考えています。これまでの古い考えから脱却し、本当に役に立つまちづくりに取り組みたい人。そして、新しい雇用の場と新しい人々の流入、若い人たちの希望を創り上げたいと真に願う人は、ぜひこのプロフェッショナルコースを受講してみてください。これまでの人生と全く違った世界が待っていますよ！

vol.04 実践する勇気がもらえるスクールです

太田 聖さん／リノベーション会社勤務

私の生まれ育った故郷は、和歌山県田辺市という小さな都市です。東京の友人を連れて地元を巡る機会が何度かあり、もっと地元の素晴らしさを発信していきたい。もっと地元の若い人々に、地元の素晴らしさを自覚してほしい。そう思うようになりました。加えて、昨年縁があって地元の同級生と結婚する事になり、それをきっかけに、いつか故郷で暮らし子育てをしたいと考えています。スクールに参加する前から、妻と共に目標設定をしており、2021年にUターン、起業をできるように準備したいと考え、自分が担うべき役割は何か、核となるスキルを身につけることを、意識していました。一歩先を見て、大きなビジョンを描きながらも、素早く、小さく、確実にビジネスを仕掛けていくことの重要性をスクールを通して学びました。悠長に構えてはいられないなと感じずぐにでも地元でのアクションを仕掛けようと思います。

スクールでは、何より、実践者が生き活きとアクションをしている姿を間近で見学することができます。ノウハウもさる事ながら、実践する勇気がもらえる。自分も早くアクションせねば！アクションしたい！と思えます。一人一人、取り組んでいる事、アプローチのし方は少しずつ違いますが、大きな目的意識や思考のプロセスに共通点があったり、マインドの部分にすごく共感できる事が楽しいです。

また、講師の事例紹介など聞く時に、講師だったら、自分の街でどう取り組むだろうか。とか、あるいは、どう真似をしようか妄想しながら聞くと非常に楽しいです。

プロフェッショナルコースを検討している方は迷わず、受講しましょう！



リノベーションまちづくりとは

嶋田 洋平 / (株)らいおん建築事務所 代表取締役

前期 講義#001
2016年9月28日
18:20~19:50

リノベーションスクールとリノベーションまちづくりの関係性について、本講座を受講するに当たって必要な基礎知識と心構えを獲得します。また、北九州と雑司ヶ谷の事例を通して、不動産オーナー、まちづくりのキーパーソンとなる現代版「家守」、そしてビジネスオーナーの三者を登場人物とし、戦略的な都市政策の策定から家守会社の運営まで公民連携して行っていくための必要な枠組みを獲得します。

地域の課題を事業で解決する

小野 裕之 / greenz.jp プロデューサー、NPO 法人グリーンズ事業統括理事

前期 講義#002
2016年9月28日
20:00~21:30

リノベーションまちづくりの目的を達成する、すなわち都市・地域経営課題の解決を行うには、持続可能な仕組みをつくる必要があります。社会的な課題解決のアイデアを紹介する WEB サイト「グリーンズ」や、グリーンズで取り上げられてきた事業の事例を通して、どうキャッシュポイント（報酬や売上げが発生する瞬間）をつくったらよいか、工夫していくための基礎知識を獲得します。

都市解析 <定量分析>・都市解析演習 1

片岡 寛之 / 北九州市立大学 准教授・博士、(株)北九州家守舎 取締役

前期 講義#003
2016年10月5日
18:20~21:30

まちの現状や課題を、定量的な分析に基づいて把握するための知識を獲得します。人口動態から不動産の価値の面的・時間的変化、エリア内の空き家まで、グラフィックとして表現する方法を学び、どのような情報を収集して可視化したらよいか、実践的な知識を獲得します。

エリアに根ざした現代版家守の仕事 1

塩田大成 / (株)ビルスタジオ

前期 講義#004
2016年10月12日
18:20~19:50

江戸時代、不在地主に代わり長屋を管理しながら公用を担っていた「家守（やもり）」が存在しました。この役割を現代にも応用し、地域の遊休不動産を活用しながら、まち全体としてのエリア価値が高まるようエリアをプロデュースし、まちをつくり、守っていくのが「現代版家守」です。現代の家守として各地域で活躍する講師から、実践の内容や職能や職域を学びます。

エリアに根ざした現代版家守の仕事 2

宮崎晃吉 / HAGISO 代表・一級建築士事務所 HAGI STUDIO 代表

前期 講義#005
2016年10月12日
20:00~21:30

江戸時代、不在地主に代わり長屋を管理しながら公用を担っていた「家守（やもり）」が存在しました。この役割を現代にも応用し、地域の遊休不動産を活用しながら、まち全体としてのエリア価値が高まるようエリアをプロデュースし、まちをつくり、守っていくのが「現代版家守」です。現代の家守として各地域で活躍する講師から、実践の内容や職能や職域を学びます。

発明の時代のまちづくり

西村 浩 / (株)ワークヴィジョンズ 代表

前期 講義#006
2016年10月19日
20:00~21:30

右肩上がりの時代を経て、人口減少・縮退化していくこれからの時代のまちづくりの方法論が、いま求められています。あるエリアに、ゼロから上向きスパイラルを生み出し、まちを変えていく「発明的な」まちづくりの方法を、佐賀や大分をはじめとした各地での実践を踏まえて、学びます。

都市解析演習 1

嶋田 洋平 / (株)らいおん建築事務所 代表取締役

前期 講義#007
2016年10月19日
20:00~21:30

まちの現状や課題を、定量的な分析に基づいて把握するための知識を獲得します。人口動態から不動産の価値の面的・時間的変化、エリア内の空き家まで、グラフィックとして表現する方法を学び、どのような情報を収集して可視化したらよいか、実践的な知識を獲得します。

都市解析 <考現学 1・2・3>

清水 義次 / (株)アフタヌーンソサエティ 代表取締役

前期 講義#008
2016年10月26日,11月2,9日
18:20~19:50

まちの現状や課題を定性的に把握するために、現代人の生活ぶりを、動物の行動や習性と同様な観点から観察し、統計的手法により調査・比較・分析する「考現学」の方法を学びます。さらに、近未来の都市生活者や社会の変化の兆しを読み解くための実践的な知識を獲得します。

Sensuous City [官能都市]—動詞で評価する新しい都市分析—

島原 万丈 / (株)ネクスト HOME'S 総研 所長

前期 講義#009
2016年10月26日
20:00~21:30

都市の魅力とはどう測られるべきか。効率性や機能性だけでは掬い取ることが出来ない、都市に住むことの喜びを反映したリアルな都市生活者目線の物差しが、いま求められているのではないか。そのような問題意識のもと、「都市における官能的な経験の実際をつかむ」ことを目的とした「センシユアス・シティ調査」をふまえ、今まで見過ごされてきた都市の魅力の分析手法を学びます。

エリア・マーケティング論 1

加藤 寛之 / 都市計画家、(株)サルトコラボレイティヴ 代表取締役

前期 講義#010
2016年11月2日
20:00~21:30

まちの現状や課題を定性的に把握するために、考現学の方法を「表」や「昼」の世界だけでなく、「裏」や「夜」の世界にも適用すると、その地域の人々の動きやニーズが浮き彫りになります。その着眼点や手法と、そこから得られる成果について、全国各地の事例を踏まえて実践的な知識を獲得します。

都市解析〈夜の考現学〉

岡崎 正信／オガールプラザ(株) 代表取締役、内閣官房地域活性化伝道師

前期 講義#011
2016年11月9日
20:00～21:30

まちの現状や課題を定性的に把握するために、考現学の方法を「表」や「昼」の世界だけでなく、「裏」や「夜」の世界にも適用すると、その地域の人々の動きやニーズが浮き彫りになります。その着眼点や手法と、そこから得られる成果について、全国各地の事例を踏まえて実践的な知識を獲得します。

エリアに根ざした現代版家守の仕事 3

岡昇平／設計事務所岡昇平 代表・仏生山温泉 番台

前期 講義#012
2016年11月16日
18:20～19:50

江戸時代、不在地主に代わり長屋を管理しながら公用を担っていた「家守（やもり）」が存在しました。この役割を現代にも応用し、地域の遊休不動産を活用しながら、まち全体としてのエリア価値が高まるようエリアをプロデュースし、まちをつくり、守っていくのが「現代版家守」です。現代の家守として各地域で活躍する講師から、実践の内容や職能や職域を学びます。

エリア・マーケティング論 1

明石卓巳／(株)レイデックス 代表取締役

前期 講義#013
2016年11月16日
20:00～21:30

まちの現状や課題を定性的に把握するために、考現学の方法を「表」や「昼」の世界だけでなく、「裏」や「夜」の世界にも適用すると、その地域の人々の動きやニーズが浮き彫りになります。その着眼点や手法と、そこから得られる成果について、全国各地の事例を踏まえて実践的な知識を獲得します。

共感を生むプロモーションの方法論 1

大島 芳彦／(株)ブルースタジオ 専務取締役

前期 講義#014
2016年11月30日
18:20～19:50

建物のリノベーションの経験豊富な講師から、地域資源となるべき空き家を見つけたら、どのように共感を生むストーリーを組み立ててプロモーションしていくのか、効果的な手法や実践的な知識を獲得します。

共感を生むプロモーションの方法論 2

青木 純／(株)メゾン青樹 代表

前期 講義#015
2016年11月30日
20:00～21:30

新しいビジネスを創造する課程で、どのようにステークホルダーとビジョンを共有し、情報と体験をデザインして共感を生んでいくかー日本の新しい大家像をつくり、世界から共感を集めた講師から、豊富な事例を踏まえて実践的な知識を獲得します。

クリエイティブ・ディレクション論

大島 芳彦 / (株)ブルースタジオ 専務取締役

前期 講義#016
2016年12月7日
18:20~19:50

建物のデザインだけでなく、そこで事業が成り立つための戦略やソフトの企画など、マーケティングやブランディングの視点からトータルにディレクションを行うための発想力を豊富な事例を通して養い、実践的な知識を獲得します。

現代版家守事業の方法論 -パブリック・マインドと エリア・プロデュース&マネジメント論-

清水 義次 / (株)アフタヌーンソサエティ 代表取締役

前期 講義#017
2016年12月7日
20:00~21:30

空き家の有効活用のために、なぜエリア全体の価値向上を目指す必要があるのか、「敷地に価値なし、エリアに価値あり」という言葉を20年前から唱えてきたエリア・プロデュース及びマネジメントの先駆者である講師から、一貫して大切にされてきた心構えを学び、実践的な知識を獲得します。

家守会社のコンセプト論

嶋田 洋平 / (株)らいおん建築事務所 代表取締役

後期 講義#018
2017年1月18日
18:20~19:50

江戸時代、不在地主に代わって家屋を管理する職業「家守（やもり）」の役割は、民間人として、まちを守り、経営することでした。この役割を現代にも応用して、地域の遊休不動産活用を推進するのが、家守会社です。不動産オーナーと新規ビジネスオーナーをつないでサポートする、まちの再生のための民間組織として、必要な心構えや枠組みを獲得します。

プロジェクトチーム・メイキング

大島 芳彦 / (株)ブルースタジオ 専務取締役

後期 講義#019
2017年1月18日
20:00~21:30

プロジェクトを立上げ、継続し、成長させていくためには、チーム力が不可欠です。人の気持ちを溶かし、動かし、結束させてきた経験豊富な講師から、チームメンバーが能力を補い合い、最大化していくために大切にすべきことを学び、実践的な知識を獲得します。

建築の産業論 1・2

松村 秀一 / 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 教授

後期 講義#020
2017年1月25日
18:20~21:30

建築関連業界にいま求められているのは何か、20世紀以降の産業構造の変化からひもといていき、「生活のための環境やそれをつくる行為を、より身近なところに引き寄せようとする」時代について、建築生産研究の第一線で活躍される講師から学び、遠い未来への展望をも獲得します。

ベースビルと対峙する作法

馬場 正尊 / Open A Ltd. 代表取締役

後期 講義#021
2017年2月1日
18:20~19:50

ベースビルが立地的、環境的、構造的、空間的あるいは機能的に活用できるかを判断し、その建物のもつ魅力を最大限に生かしたデザインをしていくことがリノベーションにおいて非常に大切です。その勘どころをおさえ、物件調査の目を養うための実践的な知識やデザインの作法を獲得します。

リノベーションの建築構造

木下 洋介 / 木下洋介構造設計室 代表

後期 講義#022
2017年2月1日
20:00~21:30

リノベーションにおける構造工事では、工事が必要かどうかを判断し、そして必要な場合はどのような工事の方法がベストかを導き出すために、建物の持つ構造を見極め、材料、工法を提案し設計の具体化を行っていきます。建物の構造を生かしながら魅力的な空間を実現した実例により実践的な知識を学びます。

リノベーションの事業計画とファイナンス論

林 厚見 / SPEAC 共同代表、東京 R 不動産ディレクター

後期 講義#023
2017年2月8日
18:20~19:50

コンテンツアイデアや空間デザインと、収支計画や資金調達のあり方は別々のものではなく、同時に行き来しながらプランニングしていく必要があります。事業計画を現実的なかたちとして組み立てるための考え方の基本や実践的な知識を獲得します。

リノベーション時代のビルダー

福井 信行 / (株)ルーヴィス 代表取締役

後期 講義#024
2017年2月8日
20:00~21:30

顧客が求める空間・サービスの機能とその達成手段についてアイデアを出し、コストコントロールとバリューエンジニアリングを同時に行うプロセスはとても重要です。住宅から店舗まで幅広いジャンルのリノベーションを数多く手掛けながらも、飲食事業にもチャレンジする講師から、ビルダーの枠にとらわれずに思い描く目的を達成するために行ってきた実例をもとに、実践的な方法論を学びます。

リノベーション事業スキームの構築

嶋田 洋平 / (株)らいおん建築事務所 代表取締役

後期 講義#025
2017年2月15日
18:20~19:50

多くのプレーヤーを巻き込んで事業を進めて行くためには、新しい仕組みや枠組みをつくり、説得力のある運営計画を立てることで着実に目標を達成していくことが必要です。実際に北九州と豊島区において家守舎を立上げ、経営されてきた講師から実践的な知識を獲得します。

会社法～会社のカタチのデザイン～

平松 圭 / sumusee(株)代表取締役、小僧 com(株)取締役副社長

後期 講義#026
2017年2月15日
20:00～21:30

ゼロから会社を始めるクリエイティブな働き方・生き方を目指すビジネスオーナーだからこそ知っておくべき、会社の設立・解散、組織、運営、資金調達（株式、社債等）、管理などの方法について、実例より実践的な知識・会社を継続させるための心構えを獲得します。

エリアの価値構造変化を起こす構想力

木下 斉 / 一般社団法人 AIA 代表理事、内閣官房地域活性化伝道師

後期 講義#027
2017年2月22日
18:20～19:50

まちを守っていくためには、まちを支えているバリューネットワークの構造を理解する必要があります。不動産オーナー、ビジネスオーナー、消費者を見据え、エリアにはない優位性をどうつくり上げるのか。リノベーションを進める上では、このような地域経済に対する基礎的な意識がないと、単に改装して終わってしまいます。場所を変え、地域経済構造をも変える方法とはなにか。新しい時代のまちの未来を描く方法論を解説します。

表にはあらわれない仕事

(調整中)

後期 講義#028
2017年2月22日
20:00～21:30

「有名人」はよく目立ち、かっこ良く、憧れの的になりやすいもので、またそのように意図されています。同時に、同じ価値観を共有して、影で様々な人やチームを動かし、プロジェクトを進行させたり、危機を回避したりすることで「有名人」の影響力を最大化させる無名の存在がいてこそ、プロジェクトをより大きな成功へ導きます。影の立役者たる講師から、その心構えを学び、事業を展開していくうえで取り落としてはならない実践的な知識を獲得します。

課題解決とプロジェクト・マネジメント論

吉里 裕也 / SPEAC 共同代表、東京 R 不動産代表ディレクター

後期 講義#029
2017年3月1日
18:20～19:50

プロジェクトの計画が適切にできても、チームを最適に配置して責任をもって統括し、コストやスケジュール、そしてクオリティをコントロールして進めていくプロデューサーの役割を担う人がいなければ、プロジェクトは成功しません。人を巻き込んでプロジェクトを進行するための実践的な知識を獲得します。

企業やオーナーに効くプレゼン・企画書の作り方

馬場 正尊 / Open A Ltd. 代表取締役

後期 講義#030
2017年3月1日
20:00～21:30

資金調達や物件の交渉において、異なった価値観やバックグラウンドを持つ方々に、新しい価値や将来性をうまく伝えるにはどうしたらよいでしょうか。数々のクリエイティブな事業を実現してきた講師から、プレゼンテーションの組み立て方について実践的な知識を獲得します。

セルフビルド・DIY 論

(調整中)

後期 講義#031
2017年3月8日
18:20～19:50

専門家でなくとも、洋服や料理のように、もっと気軽に空間づくりに参加してもらいたい！と「DIYの楽しさを共に楽しむ」サービスを提供されてきた講師に、デザインから施工まで、専門家に頼むべき部分と初心者でも取り組みやすい部分の線引きや、見通しの立て方などを学び、明日から役に立つDIYの実践的な知識を獲得します。

既存建築物の建築法規とコツ

宮部 浩幸 / SPEAC 取締役・アーキテクト、近畿大学建築学部准教授

後期 講義#032
2017年3月8日
20:00～21:30

既存建築物の改修工事を行う際、建築法規の壁が立ちはだかる場合があります。最小限の労力で既存建築物の良さを引き出し、活かしていくため、豊富な事例を踏まえて、法規を乗り越えるための実践的な知識を獲得します。

リノベーションの建築デザイン論 1・2

(調整中)

後期 講義#033
2017年3月22日
18:20～21:30

建築のデザインや計画の観点から、ひとをあっと驚かせ、考えさせたり、また楽しませたりする空間づくりについて、数々の華々しい実績をつくってきたプロの心構えを学び、感性の養い方等の実践的な方法論を獲得します。

クリエイティブ事業者のための財務諸表分析と戦略的管理会計

山内 真理 / 公認会計士・税理士、Arts and Law 代表理事 (共同代表)

後期 講義#034
2017年3月29日
18:20～19:50

ビジネスを展開するうえでは自社の状況を適切に分析し、経営意思決定に役立てていくことが大切です。ここでは財務諸表の基本的な構造を学び、自社の財務諸表の分析を通じて経営上の課題を読み解く手法を学びます。また、予算管理や資金繰り表作成のエッセンスを学ぶことでビジネスに必要な計数感覚を養います。

クリエイティブ事業者のための法務

水野 祐 / 弁護士、シティライツ法律事務所 代表

後期 講義#035
2017年3月29日
20:00～21:30

既存の枠組みにとらわれずに自らのビジネスを創り、守っていくために必要な、法務の基礎知識を獲得します。また弁護士等の専門家に何をどのように依頼し、相談したらよいか、日々の業務経験を踏まえた実践的な知識を獲得します。